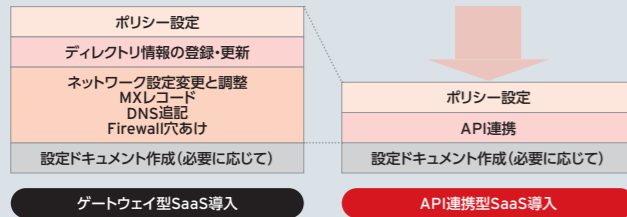


導入・管理面のメリット

導入期間・コストの抑制

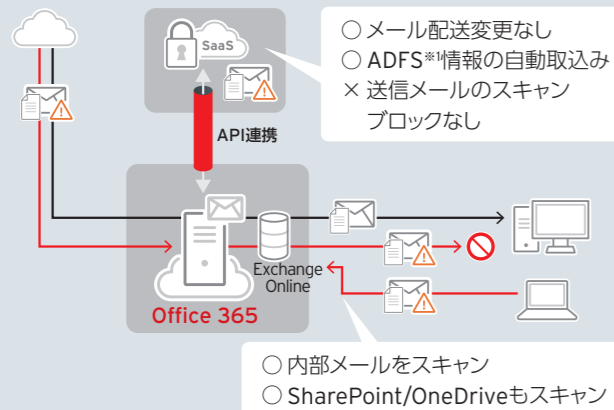


- 面倒なディレクトリ認証もAPI連携で不要
- 「ルール」「処理」「通知」の3つを選ぶだけのかんたん設定
- スキャン対象を絞ってのスマートスタートも可能
- 導入までの期間・コストを抑制

「API連携型」と「ゲートウェイ型」の比較

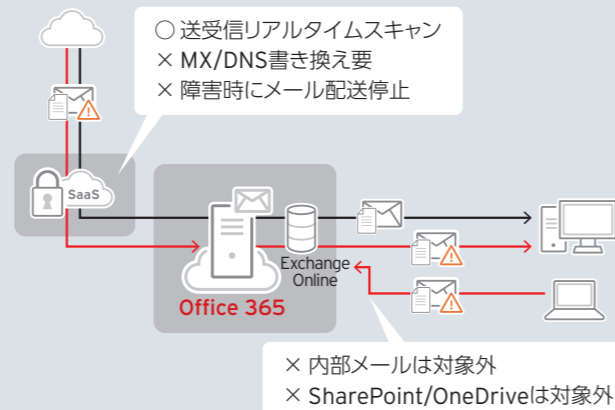
API型 Trend Micro Cloud App Security

API連携により、メールボックスやクラウドストレージに対してスキャンが実行され、再スキャンができる。



ゲートウェイ型クラウドセキュリティ

メール送受信の経路でスキャンが実行され、受信後は再スキャンができない。



*1 ADFS: Active Directory Federation Service

マルチクラウド**2に1ライセンスで対応

追加費用なしでメールだけでなく、クラウドストレージサービスも守ることができます。同じユーザであればTrend Micro Cloud App Securityが対応している複数のクラウドアプリケーションを保護しても、追加費用なしの1ライセンスで対応可能です。

**2: マルチクラウドとは、複数のクラウドサービスを組み合わせて使うこと。

※右記標準価格は1年間のスタンダードサポートサービス提供を含む各サービスの1ライセンスあたりの使用許諾料金であり、サービスの継続利用、バージョンアップ、パターンファイルのダウンロード等のサポートサービス継続をご希望の場合は1年ごとに契約の更新が必要です。

※記載内容は予告なく変更される場合があります。

※追加、更新の価格は新規標準価格と同額です。

(注) 契約期間中の追加ライセンス数が5ライセンスに満たない場合、契約の更新時までは追加費用なしで利用可能です。その後更新を迎えた時、または追加利用数が5以上になった時に追加購入ください。なお、更新と同時に購入の際は5ライセンス未満での追加購入が可能です。

Trend Micro Cloud App Security

標準価格表(消費税別)

| 価格 ランク | ライセンス数 | Cloud App Security |
|--------------|-----------------|--------------------|
| | | 新規標準価格 |
| A | 5 ~ 499 | ¥ 5,150 |
| B | 500 ~ 999 | ¥ 4,530 |
| C | 1,000 ~ 1,999 | ¥ 4,150 |
| D | 2,000 ~ 4,999 | ¥ 3,670 |
| E | 5,000 ~ 9,999 | ¥ 3,190 |
| F | 10,000 ~ 24,999 | ¥ 2,780 |
| G | 25,000 ~ | ¥ 2,590 |
| 新規・更新時最低購入数量 | | 5ライセンス |
| 追加時最低購入数量(注) | | 5ライセンス |
| ライセンス課金対象 | | アカウント数 |

体験版など詳しくは ▶ www.go-tm.jp/tmcas



TREND MICRO トレンドマイクロ株式会社

お問い合わせ先

東京本社
〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1
新宿メインタワー
TEL.03-5334-3601 (法人お問い合わせ窓口)
FAX.03-5334-3639

大阪営業所
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原3-4-30
ニッセイ新大阪ビル13F
TEL.06-6350-0330 FAX.06-6350-0591

名古屋営業所
〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-22-24
名古屋桜通ビル7F
TEL.052-955-1221 FAX.052-963-6332

福岡営業所
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-3-7
シティ21ビル7F
TEL.092-471-0562 FAX.092-471-0563

www.trendmicro.com

TREND MICRO, Connected Threat Defense, およびXGenはトレンドマイクロ株式会社の登録商標です。本ドキュメントに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。記載内容は2019年2月現在のものです。内容は予告なく変更になる場合がございます。Copyright©2019 Trend Micro Incorporated. All right reserved.

BR-CAS-005

User Protection

TREND MICRO

Trend Micro Cloud App Security™

Office 365、G Suite、Box、Dropboxのセキュリティを強化

POWERED BY
XGen™
SECURITY



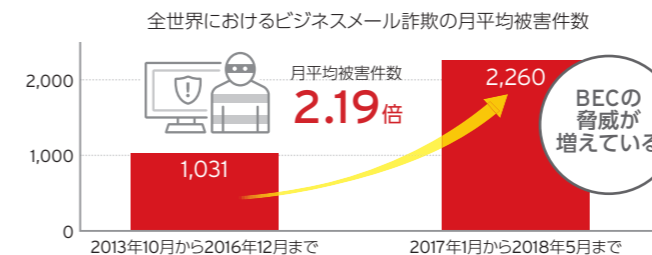
TREND MICRO SECURITY
as a Service

知っておきたいクラウドサービスの2つのリスク

メール経由の脅威とクラウドストレージからの情報漏えいリスク

リスク1

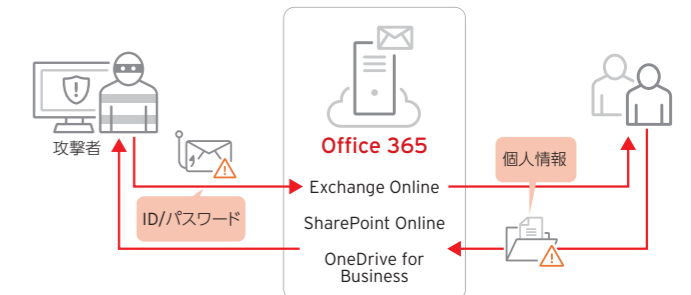
ビジネスメール詐欺(BEC)の脅威が拡大*



*FBIの公表情報をもとにトレンドマイクロが独自に算出
<https://www.ic3.gov/media/2017/170504.aspx>
<https://www.ic3.gov/media/2018/180712.aspx>

リスク2

クラウドストレージからの情報漏えい



詳細は裏面へ →

多層防御とAIによる機械学習でクラウドアプリケーションのセキュリティを強化

Office 365^{※1}、G Suite^{※2}におけるセキュリティ課題

※1 対応アプリケーション: Exchange Online, OneDrive for Business, SharePoint Online
 ※2 対応アプリケーション: Gmail, Google ドライブ (Gmailは、2019年4月~6月対応予定)



続発するメールインシデント

- ・ビジネスメール詐欺による事業損失
- ・クレデンシャル・フィッシングによる認証情報・個人情報の流出



クラウドストレージの情報漏えいリスク

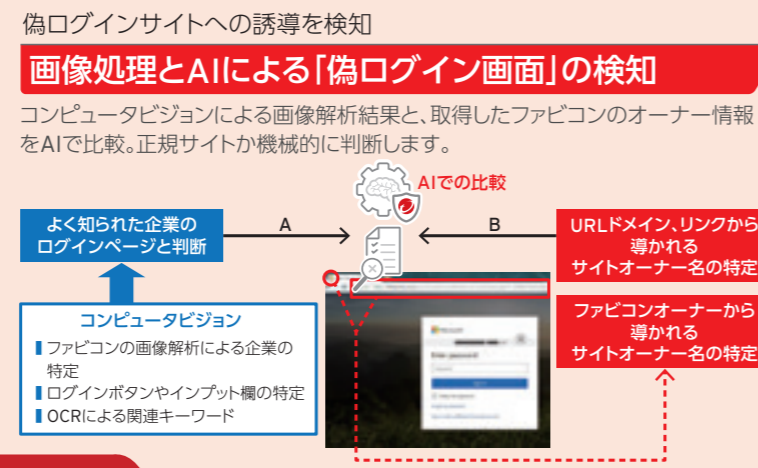
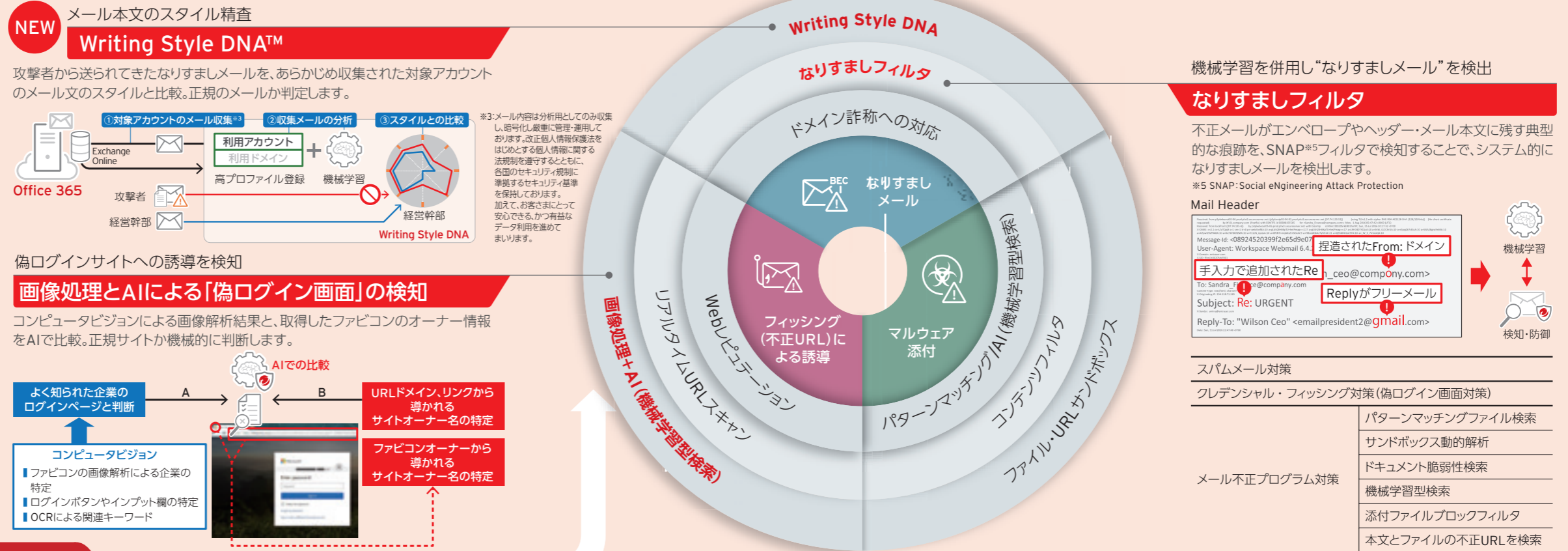
- ・OneDrive for Business、Google ドライブからの個人情報漏えいインシデント
- ・個人・機密情報のパブリッククラウドストレージへの保存



複雑化する運用管理

- ・複数システム活用によるMXレコードの引き回し
- ・ディレクトリサービスと別システムのユーザ管理

続発するメールインシデントに対する多層防御



Trend Micro Cloud App SecurityTM

漏えいを防ぐ仕組み作りでクラウドストレージの安全性を確保

